

(仮訳)

## ナジブ・ラザク・マレーシア首相発野田総理宛て祝賀メッセージ(骨子)

東方政策30周年に際し、同政策が1982年に開始されて以来、マレーシアに対する日本からの長年にわたる支援及び協力に対し、心から感謝の意を表します。

過去30年間、15,000人以上のマレーシア国民が、特に特殊技能や先端技術が必要とされる分野において、日本の大学や企業で勉強や研修に励み、東方政策の恩恵を享受してきました。東方政策は、日本的な勤勉性や労働倫理を身につけた熟練労働者を排出するとともに、過去30年以上にわたり、マレーシアの成長、開発及び技術の進展に大いに役立ってきました。

東方政策は、日・マレーシア間の緊密な友好関係とパートナーシップの明白な証です。両国は、政府レベルのみでなく、ビジネスレベル及び国民交流のレベルにおいても、東方政策の恩恵を受けてきました。東方政策は、日本の投資家やマレーシアで活動する日本企業のお陰で、マレーシア経済の工業化に大きな役割を果たしてきました。東方政策により、マレーシアは自国の自動車産業を確立することもできました。自動車産業は、今ではマレーシアの製造業において最も重要かつ戦略的な産業の一つとみなされています。

東方政策は、2020年までに先進国入りを目指す経済改革プログラム(ETP)に貢献し、及びこれを支援する上で確実に重要な役割を果たすものですが、マレーシアは、この東方政策に対する日本の継続的な協力及びコミットメントを高く評価しています。

この文脈で、マレーシア日本国際工科院(MJIIT)がクアラルンプールに設立されたことは、非常に喜ばしい限りです。日本からの継続的な支援及び協力により、マレーシア人のみならず東南アジア地域からの学生にとって、MJIITが教育の中核拠点の一つとなることを期待してやみません。

両国間で緊密な協力を推進するに当たり、東方政策が妥当な施策であり続けることについての強い確信を改めて確認したいと思います。現在の日・マレーシア間の友好的な、かつ、誠意ある関係が、将来にわたり強化され、及び拡充され続けることを切に望みます。